

(創部 50 周年：千葉大学競技ダンス部の記念誌に寄せて)

昭和 47 年 3 月卒業：人文学部法律学科

飯笹伸一郎

1、当時の学園風景

西千葉キャンパスは、まだ地面が多く、ところどころ雑草が生えていました。入学の手続きは木造の建物であったと記憶しています。公団アパートのような校舎が立ち並び、次々と新しい校舎が建設されていました。生協の食堂で安い(40 円?) カレーライスを食べたものです。JR 西千葉駅もまだ高架でなく、古ぼけた小さな駅舎でした。確か、松林がすぐそばにあったと思います。

2、クラブに入ったキッカケ

何かクラブに入ろうと思っていました。最初軟式テニス部に入ろうと思い、部室を訪ねたら、あまり印象が良くなく、やめました。たまたま、人文学部の建物：5 階教室でのダンス部の練習を遠くから見ました。最初は何をやっているんだろうと疑問に感じ、見に行きました。見学に行ったら、先輩が親切で、明るい雰囲気なので、なんとなく自分にもできるかな? と思いました。そして入部しました。

3、クラブ活動

当時の名称は、「千葉大学舞踏研究会」であったと思います。週 4 回、月 水 金 土 16 時から 2 時間程度、体育館のトレーニング室で練習を行っていました。主に、先輩から教えていただき、練習していましたが、競技会に参加するようになると、プロの指導を受けるため教室に通うようになりました。種目はモダンが中心で、ラテンが出てくるのは、ずっと後になってからのことです。当時のレッスン料は 30 分 1,500 円程度だったと記憶しています。

夏は、8 月中旬 1 週間程度、妙高高原の香風館という旅館に宿泊し、近所の公民館などで練習しました。OB の参加もありましたので、練習終了後は、レクレーションなどで楽しみました。

4、競技会

記憶にあるのは、国公立戦、東部戦、全日本戦、県内 3 校対抗戦などです。初めて学生服で出た、国公立戦(電気通信大学?) の光景は、今でも脇の裏に焼きついてます。成績は忘れましたが、諸先輩の応援が盛大で、大変うれしかった記憶があります。当時の千葉大の実力は、他大学に比すると劣っており、決勝進出などありえなく、予選通過を喜ぶレベルでした。

5、部室

部室は、裏門プール際のプレハブでした。確かスキー部が隣の部屋で、共用していました。休憩時には、三々五々部室に集まり、古いアルバム等を見ながら、皆で談笑しました。今おもえば汚い部室でしたが、青春真っ盛りのわれわれにとっては、楽しい空間でした。

た。

6、追憶

当時の仲間と会う機会もありますが、みんなそれなりに、ダンス部での思い出を懐かしく思っていることと思います。社会人となってからも、ダンスを続けている人もいます。学生時代の4年間は、長く感じますが、就職してからは、あっという間です。私個人としては、指導部長・主将を務めましたが、十分にできたか疑問に感じています。反省点としては、もう少し勉強しておくべきだったかな？

以 上

平成 19 年 11 月 26 日記載

(何分古い記憶をたどって記載していますので、内容に誤りがあったらご容赦ください。)